



北海道森林管理局 知床森林センター
〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町11番地
電話 0152-23-3009 FAX 0152-23-3160
ホームページ <http://www.shiretoko.go.jp/>



地域高校生環境サミット エゾシカ樹皮食害防止ネット巻きの体験学習

8月6日、地域高校生サミット（網走支庁主催）における環境保全活動として、北見北斗高校、羅臼高校の生徒4名が食害防止ネット巻き体験を行いました。

当日は知床ボランティア活動施設で知床におけるエゾシカの現状について学習した後、ウトロ地区にあるイチイ林木遺産資源保存林に移動しネット巻き体験（写真上）を行い、森林での野生生物と人との関わりを学びました。

知床ボランティア施設での学習会の様子



第89回森林レクリエーションin知床

～可憐な花を求めて神秘の羅臼湖へ行こう！～



毎年人気の羅臼湖散策。今年もやはり人気があり抽選の結果、男女21名（男性10名、女性11名）の参加がありました。

当日は、羅臼湖入口に到着すると太陽がのぞき暑いぐらいの陽気になりました。

今年は雪解けが早く、残雪はほとんど見られませんでしたでしたが、そのかわりに高山植物の花々が参加者の目を楽しませており、目的地である羅臼湖も、この日はとてもきれいにすることが出来ました。

帰り道では山頂の見えなかった羅臼岳も顔を出し、満足のなかで3時間半の散策を終えました。

参加者の方からは「一度、羅臼湖に行ってみたかったのでこのような機会を提供していただき良かった」「解説もわかりやすく有意義な一日を過ごせて良かった」などの感想を頂きました。

【小学生・夏休みイベント】

樹木名を覚えてゲームに挑戦！木工作も大人気！

7月30日に第74回森とのふれあい「木工作をしながら森林について学習しよう」を開催しました。小学生14名、お母さん5名の合計19名の参加者たちは、庁舎内にある5種類の木の名前を文字を探しながら覚える「文字探しゲーム」、スライドを使って学習する「森林の働き」、木の枝や実を使ってオリジナル作品を作る「木工作」の3つのプログラムを3時間体験しました。



「文字探しゲーム」

注意深く樹木を観察しながらの文字探し。見つけた時は、「あった！」と大興奮！

参加者からは、「木工作が楽しかった」「もっといろんな木の名前を覚えたい」と大好評でした。



「木工作」

子供達に大人気の木工作。時間を忘れ作品づくりに没頭中。

水のがっこう夏まつり

丸太切りのペン立て作り大好評！



8月2日に、旧斜里町立来運小学校で水のがっこう夏まつり（主催：水のがっこう夏まつり実行委員会）に参加しました。

このイベントは「親子・自然・出会」をテーマに地域の振興と青少年の健全育成を目的に毎年開催されています。当日は、14のワークショップと「地産地消」などにこだわった14のテナントが出店され、約500名の来場者がありました。当センターは木材を身近に感じてもらうため「ペン立て作り体験」を実施しました。

参加者は、なれないノコギリで汗を流しながら木を切り、ドリルで穴を開け、切り口に好きな絵などを描き、その出来映えに一喜一憂していました。木材の加工のしやすさ、木の温かみを伝えられたことと思います。また、他のワークショップの方から「来場者のほとんどがペン立てを持っていた」との話があり、みなさんに喜んでいただけたようです。



知床発・国民参加の森林づくり

第4回「知床永久の森林づくり協議会」開催



7月9日（水）13時から委員16名のほかオブザーバー、森林管理局・署等担当を含め約40名の出席により、北海道森林管理局（札幌市）大会議室で開催されました。

今年度1回目の協議会であり、昨年度末に策定した「知床における国民参加の森林づくり活動の推進に関するビジョン」を実践するため、知床永久の森林づくりにおける施業方針、育樹祭ツアーの企画・募集、国民参加の森林づくり活動推進のための課題、効果的な情報発信のためのホームページの作成等今年度の具体的な取組方針について検討がされました。

今年度は、協議会を2回開催（7月、2月予定）するほか、実行体制検討のための部会を2チーム設置し、それぞれ2回程度開催する予定とし、第1回目の部会は9月4日～5日に開催しました。

永久の森林づくり活動の施業に関する現地検討会開催

7月31日（木）に「知床永久の森林づくり活動予定地の施行に関する現地検討会」が、生物多様性検討委員会委員6名、オブザーバー、森林管理局署等担当含め24名の出席により、斜里町内国有林（オペケブ林道沿線ほか）で開催されました。

この現地検討会は、知床における国民参加の森林づくり活動における施業方針を検討するにあたって、生物多様性に配慮した森林づくりとするため、北海道森林管理局が別に設置する生物多様性検討委員会の委員及び各分野の専門家等に助言をいただくことを目的として開催しました。

今後は、現地検討会で各委員やオブザーバーの方々から頂いた助言を基に、施業方針検討のための調査を進めていくこととしています。



知床の森を守り育てるエコロジカル体験ツアーを実施します

「知床永久の森林づくり協議会」では、ビジョンに基づく具体的な森林づくり活動のツアーとして、北海道森林管理局・北海道の共催で実施する「美しい森林づくり森林のつどい2008育樹祭」に併せたツアーを企画しました。

ツアーの行程は、9月26日（金）～28日（日）の2泊3日で、東京農業大学オホーツク校での講義、育樹祭に参加しての森林づくり体験、森林散策、旭山動物園での講義など盛りだくさんの内容となっています。詳しくは、知床森林センターのホームページをご覧ください。



知床ボランティア活動施設から

このコーナーでは知床ボランティア活動施設から皆様に旬な情報をお届けします。

八月は夏休み期間の特別企画として、施設に来た子供達を対象に、木工作や植物のタネの模型飛ばしなどのミニ教室を行いました。この企画は大反響で100名以上の参加があり、また楽しんでいただけました。



現在は10月5日のイベントにあわせて、斜里町在住の赤坂氏の「知床の山岳～四季折々の表情～」写真展を行っていますので、施設にいらっしゃった際には是非ご覧下さい。

現在10月5日のイベントにあわせて、斜里町在住の赤坂氏の「知床の山岳～四季折々の表情～」写真展を行っていますので、施設にいらっしゃった際には是非ご覧下さい。



知床は今

知床の河川ではマスが遡上し秋の気配が漂ってきました。

今年の夏の観光客は冷夏と燃料の高騰などの影響なのか、過去十年で最も少ないという厳しい状況となりました。

そんな中、8月10日に日観協主催のクリーンキャンペーンが開催され、当センターも参加し道の駅うとろ・シリエトクと知床峠でゴミの持ち帰りの呼びかけと、ゴミ拾いを行いました。



観光客が少ないにもかかわらず、残念なことに道の駅では多くのポイ捨てのゴミがありました。美しい大自然を守るため知床を訪れる際には、ゴミは持ち帰るようにしましょう。

これから知床は秋を迎え紅葉やサケ・マスの遡上が見られる時期を迎えます。当センターでは10月5日にデジタルカメラで知床の秋を撮るイベントを企画していますので、興味がある方は是非参加してください。（詳しくは知床森林センターHPで）

これから知床は秋を迎え紅葉やサケ・マスの遡上が見られる時期を迎えます。当センターでは10月5日にデジタルカメラで知床の秋を撮るイベントを企画していますので、興味がある方は是非参加してください。（詳しくは知床森林センターHPで）

これから知床は秋を迎え紅葉やサケ・マスの遡上が見られる時期を迎えます。当センターでは10月5日にデジタルカメラで知床の秋を撮るイベントを企画していますので、興味がある方は是非参加してください。（詳しくは知床森林センターHPで）



9～11月のイベントのお知らせ

詳しくは知床森林センターHP (<http://www.shiretoko.go.jp/>) か電話でご確認下さい。

実施月日	イベント名	場所	申し込み時期
9月27日(土)	美しい森林づくり 森林のつどい2008育樹祭	斜里町	受付を終了しました
9月28日(日)	しれとこ産業まつり(共催・ブース出展)	みどり工房しゃり	当日受付
10月5日(日)	森林散策をしながら知床を撮ろう	知床峠他	9月10日～9月22日
11月3日(月祝)	森の恵みで草木染め	知床森林センター	10月6日～10月30日



この広報誌は道産間伐材を使用しています。